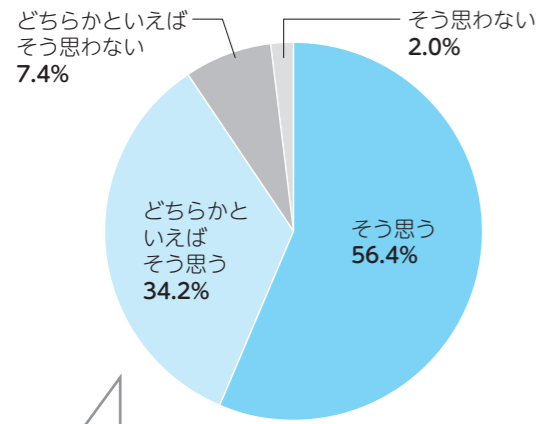
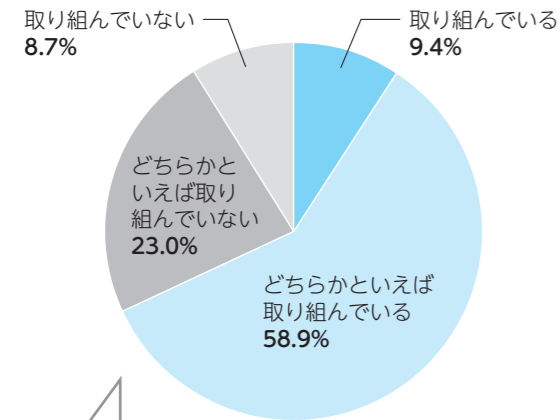


● 今後もこの地域で子育てをしたいと思いませんか



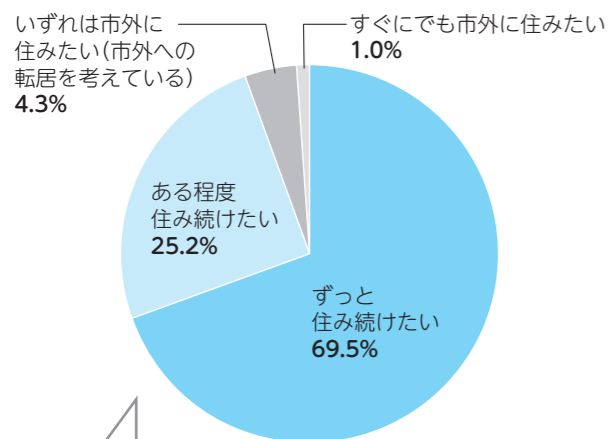
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は90.6%で、前回と比べ、4.6%増加しました。

● 市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思いませんか



「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」の割合が68.3%となっており、市民協働の意識が一定程度定着しています。

● 今後も須賀川市に住み続けたいと思いませんか

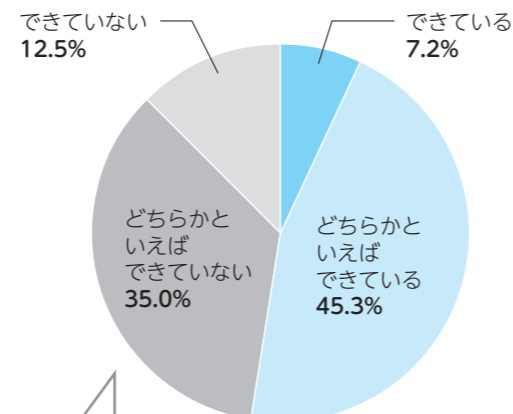


前回と同様に、90%を超える市民が、これからも須賀川市に住み続けたいと思っています。



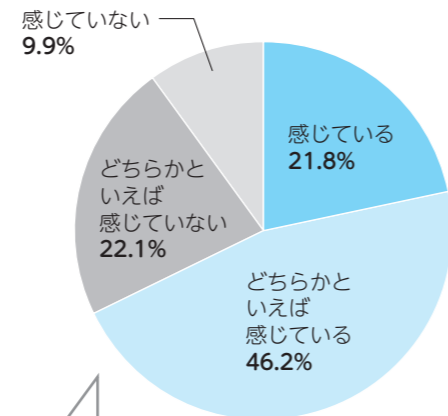
子育て環境整備に努めています(稲田幼稚園バケツ苗植え・5月12日)

● 地域で支えあう仕組みづくりができていると思いませんか



「できている」「どちらかといえばできている」の割合は52.5%で、地域で支えあう仕組みづくりが課題です。

● ふるさとの文化や歴史に誇りや愛着を感じていますか



「感じている」「どちらかといえば感じている」の割合が68.0%となっており、前回調査とほぼ同じ割合となりました。

■ 市民アンケート結果報告

# 皆さんの意見とともに ～一緒に歩む自治都市へ～

企画政策課 ☎(88)9111

**成果を図る**  
「まのまの」への活用

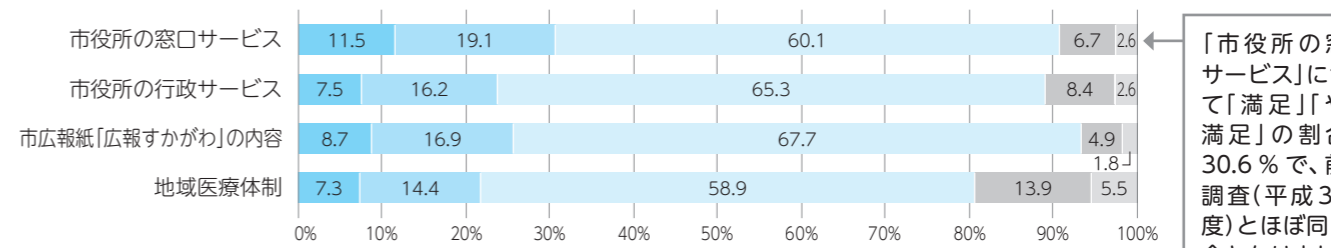
市民の皆さんの意見を基に事業の成果を検証し、今後の行政経営に活用するために、第8次総合計画「須賀川市まちづくりビジョン2018市民アンケート」を実施しました。今月号では、アンケート調査結果の中から主なものを紹介します。

1月29日から2月19日までの期間、18歳以上の市民の中から無作為に抽出した3000人を対象に実施し、1376人から回答がありました(回答率45・9%)。

設問は「行政と市民活動」「生涯学習・スポーツ・文化」「子育て・教育環境」など6つの分野で、合計51問に答えていただきました。

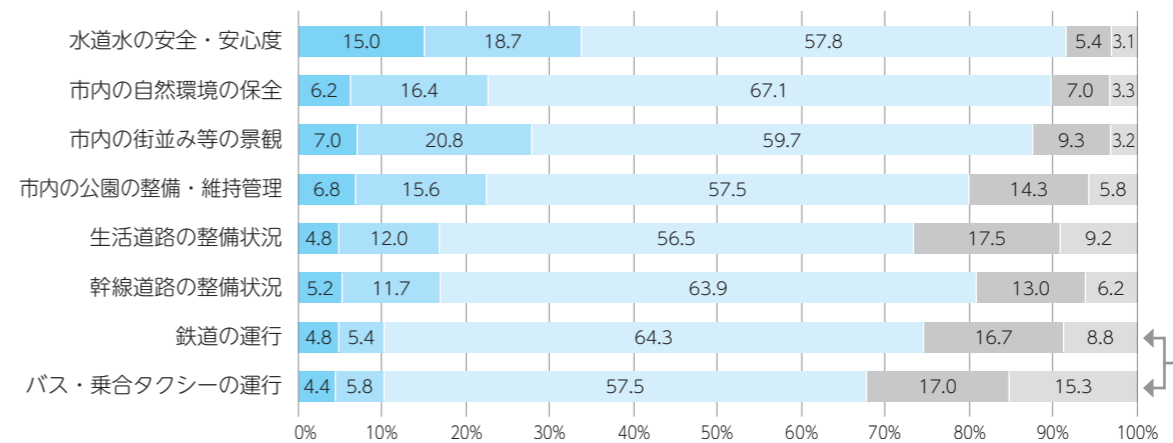
アンケートの結果は、第8次総合計画に掲げた各施策の進捗状況を把握するための「ものさし」として活用し、今後もあらゆる人に「選ばれるまち」を目指して各施策に取り組んでいきます。

「行政と市民活動」満足度



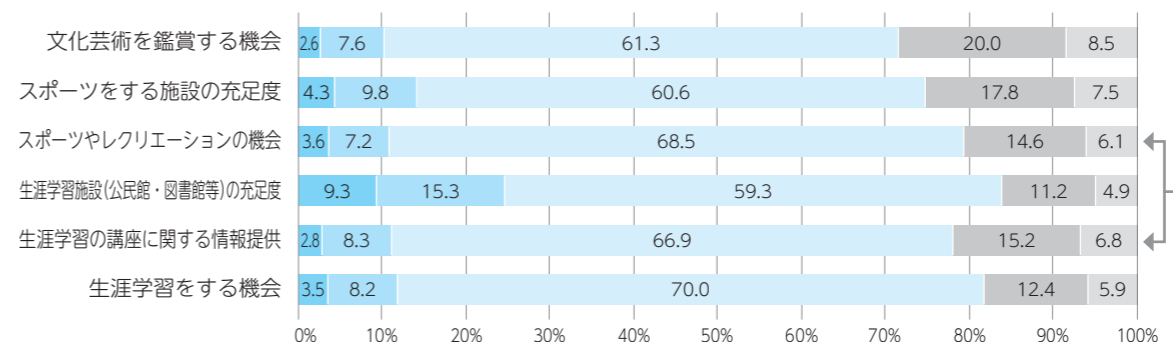
「市役所の窓口サービス」について「満足」「やや満足」の割合が30.6%で、前回調査(平成30年度)とほぼ同じ割合となりました。

「環境・生活・安全」満足度



前回調査と同様に「鉄道の運行」「バス・乗合タクシーの運行」について不満を持つ人が多く、公共交通の利便性向上が課題です。

「生涯学習・スポーツ・文化」満足度



新型コロナウイルスの影響により、スポーツの機会や生涯学習の情報提供などの満足度は前回調査と比較しやや下がっています。